

秋田県
退職校長会

会報

題字 秋田 師山 書 (秋田市会員)

第 97 号

秋田市手形学園町1-1
秋田大学教育文化学部
同窓会旭水會 内

令和3年7月30日 発行

秋田県退職校長会



みなさま いかがお過ごしですか

秋田県退職校長会 会長 高橋 一郎

昨年度から続いている新型コロナウイルスの影響で、私たちの会も苦しい運営を余儀なくされています。お会いし、会の運営の話や日常の楽しみについて語り合いたいと思っているのですが、ままならない状況です。ワクチンに期待しながら、コロナ禍の収束を願ってやみません。

家庭にあつて、ゆつくりと自分の生活を見直したり、趣味の勉強を試みたりしているのですが、もの足りなさを感じる昨今です。何が足りないのでしょうか。このままでは、自己中心的になり、認知症の危惧さえ覚えてしまいます。

心豊かに過ごせるのは、人と交わり、思いを戦わせて、新たな自分を作り出す喜びを求める事ができるからなのではないかと思っています。人としての生活の喜びを創造することが、広い意味での文化の創造なのかと感じています。狭くは、一見無駄と思える営みが、まさに人として楽しむことができる根源なのかと。

その無駄と思える営みが、コロナ禍の影響で皆無に等しい虚しさを創出してはいませんか。語り合い、喜びあい、嘆きあい、または皆で食事を楽しみ、酒を飲み、温泉に浸り、他国を訪れたり。当たり前であったことが何一つ許されないような虚しさにストレスが溜まってゆくようです。

足りなくなってしまう事々はつまりは何なのでしょう。単純な衣食住ではなく、それこそ、文化の

創造だったのではないのでしょうか。

大上段に、文化の創造などと言ってしまいましたが、なぜか、我々退職校長会の存在意義であったのではないかと反省しています。会員としてのスタートは、現職の校長を務めてきたことにあります。一つの学校の運営を任せられ、組織的な活動を展開し、他の校長と意見を交わし、教員として切磋琢磨しながら勤め上げてきた経験があります。退職したとはいえ、世の中のお手伝いが可能なかと決心したからこそ、入会したのではないのでしょうか。

会員としては、会則の第二条にあるように、「教育の尊重の実をあげ、秋田県教育の振興に寄与するとともに、退職教職員の福祉の増進を図る」ことを目的にしています。ただ、こうあらなければならぬというのではなく、心豊かに、やれることを着実に実践することだと思えます。ただ、そこには、楽しく、やりがいが必要ならなりません。

つれづれと、思うがままに書き連ねてまいりました。みなさまは、いかがお過ごしなのでしょう。顔が見えないということとはさみしいものです。縁あつて会の会員となり、一緒に過ごしてきたことに何となく甘えて、こんなつまらない話にお付き合いさせてしまいました。

一日も早くお目にかかりたいと願っております。

小学校三年の孫が、夕食を食べながら「今日、学校でSDGsの勉強をしたよ。」と話していた。「水を大切にすること、資源を大切にすること、お友だちと仲良くすることなどいっぱい教わった」と。孫が通う学校では、SDGsを大切な学習課題の一つとし、総合的な学習に取り組んでいるようである。家では何ができるのかを話題にした夕食のひと時であった。

最近、このSDGsを新聞やテレビ等で頻に見聞きするようになった。SDGsは、国連が地球規模で環境保全と経済発展を両立させ、持続可能な

社会の構築を目指す共通目標として提唱したものである。目標実現のために、国際社会が

取り組み始めて六年目になる。目標には、貧困撲滅、

質の高い教育、技術開発、環境保全、公正な

世界など十七の目標と一六九の具体的な目標が掲げられている。孫が話していた「水を大切にすること」は、目標の「6 安全な水と

トイレを世界中に」に含まれる。

SDGsを意識したのは、地球温暖化防止活動推進委員を対象にした「気候変動とSDGs」と題した講演会がきっかけである。以

前から環境と環境教育には関心をもっていた。平成元年三月に改訂された学習指導要領には、環境に関する学習の充実を図ることが示された。それを受け、秋田県では「環境教

ひとこと



秋田県退職校長会
常任理事 渡邊 義 實

毎日の生活とSDGs

育へのいざない」を刊行することになった。その執筆に関わる機会があった。学校経営では、環境とエネルギーに関わる課題を営みの柱として研究を進めていた。これらのことがSDGsを詳しく調べてみようと思った遠因である。

SDGsを調べたところで行き当たることかと思ってしまう年齢になった。が、「一人ひとりの小さな行動が世界を変える大きな力になる」という講演内容に認識を新たにしているところである。

我が家で実践していることは、太陽光発電、

エコキュートの利

用、プラスチック

ごみや生ごみの削

減、食料の地産地

消などで、ささや

かな取り組みであ

る。が、これらは、

発電や輸送等に用

いる化石燃料を削

減し脱炭素に結びつくことになる。また、地

域の農業生産物を食することは、持続可能な

秋田県農業の推進にもつながることになると

思っている。

今学校では、学習指導要領に示された「持

続可能な社会の創り手」育成のための営みが

展開されている。学びを深めた子どもたち

は、その学びを基に生きていく時代がやって

くる。子どもたちの学びが深まることを願い

ながら、子どもたちが生きる明日の環境を守るためにSDGsを意識した生活をしたいと

考えている。

令和3年度新入会員の紹介(敬称略)

〔鹿 角〕

千葉 綾悦

村 上 仁

藤 嶋 勇 人

〔大館北秋田〕

青 山 仁

吉 田 純

村 上 尚 子

成 田 新 悦

柴 田 清 香

小 林 寿

戸 田 孝 彦

木 村 伸

〔能代市山本郡〕

加 藤 美 樹

小 玉 リ ツ 子

〔男鹿市〕

斎 藤 猛 満

金 野 尚 人

長 浜 中

皆 川 雅 仁

米 屋 孝 明

〔秋田市〕

木 村 守 人

加 藤 牧 子

〔秋田市〕

斎 藤 透

千 葉 学

佐 川 喜 一

菊 池 晋

越 中 谷 俊 悦

〔由利本荘・にかほ〕

加 賀 谷 政 広

三 浦 真 澄

阿 部 潜

須 藤 一 喜

森 井 由 信

〔大曲仙北〕

佐 々 木 正

松 本 健

〔武蔵 優紀〕

樫 尾 春 海

今 野 天 美

〔戸嶋 藤典〕

浦 山 英 一 郎

後 藤 宏

〔門脇 伸子〕

千 田 寿 彦

高 橋 正 規

〔鈴木 達朗〕

下 田 亮

高 橋 宏

〔横手市〕

高 橋 玲 子

鈴 木 雄 幸

〔湯沢雄勝〕

土 田 充

鈴 木 康

〔高橋 幸一〕

近 藤 幸 一

加 藤 久 夫

〔近野 良浩〕

加 賀 徹

武 石 睦

〔中川 一志〕

高 橋 徹

武 石 睦

令和3年度
秋田県退職校長会
総会・理事会

書面決議にて
承認される

令和三年五月七日（木）に
予定されていた令和三年度
秋田県退職校長会総会・理事
会は、新型コロナウイルス感
染防止の観点から、今年度も
一堂に会しての開催は実施
せず、書面決議の形式で行わ
れました。

総会に付議する事項につ
いて、四月中に書面にて各理
事に送付・審議していただい
た後、その回答内容を反映さ
せた総会資料を全県の理事、
代議員に送付し、同意書を返
送していただきました。その
結果、すべての議事は同意・
承認されました。

四月末から五月初めのあ
わただしい中、迅速に対応し
ていただいた理事、代議員の
皆様のご理解・ご協力に改め
て感謝申し上げます。

なお、令和三年度の役員は
下記のとおりです。

令和3年度 秋田県退職校長会役員一覧

◆県【事務局所在地】〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部「旭水会」内 TEL/FAX 018-831-2783

顧問	佐藤 重義	千葉 昭	佐藤 俊彦
会長	高橋 一郎		
副会長	須藤 幸紀	佐藤 朋夫	長澤 公生（1名欠員）
常任理事	須藤 幸紀	安倍 武義	渡邊 義實 伊藤 栄二
理事	各郡市から1名（但し、秋田市から3名） 下記のとおり		
監事	小林 茂	安倍 武義	藤原 保子
事務局長	米澤 喜彦		
事務局員	佐藤 淳 工藤 絹子	佐々木 哲	茜谷 英也 高橋 澄雄 石郷岡仁司

◆郡市【会員数】1,557名（内名誉会員259名） R3.6.20 現在

退職校長会名	会員数	会長	副会長	県理事	代議員
鹿 角	71 (11)	石井 勲	吉成 博雄	石井 勲	戸未 容子・吉田 啓一
大館北秋田	236 (39)	小林 茂	武田砂代子・仲村 吉光 小笠原友行・小林 敏明	小林 茂	武田砂代子・仲村 吉光 小笠原友行・菅原 明雄 佐藤 久生
能代市山本郡	184 (22)	須藤 幸紀	佐藤 道代・工藤 誠 牧野三千雄・淡路 敦夫	須藤 幸紀	佐藤 道代・工藤 誠 牧野三千雄・淡路 敦夫
男 鹿 市	60 (8)	伊藤 章	三浦 豊彦・浅井 繁樹	伊藤 章	三浦 豊彦・浅井 繁樹
秋 田 市	252 (38)	高橋 一郎	伊藤 栄二・高田 均	伊藤 栄二 加藤豪之助 高田 均	松田 行正・濱田 眞 斉藤 孝雄・林崎 勝 鎌田 寿和・羽川 誠
由利本荘・にかほ	205 (29)	安倍 武義	佐々木 章・加藤 高行 工藤ミネ子・佐藤 清和 菅原 耕悦	安倍 武義	工藤ミネ子・佐藤 清和 菅原 耕悦・打矢 敏昭
大曲仙北	234 (56)	渡邊 義實	柴田 政幸・高橋 正彦 千田 文和・山崎 敏	渡邊 義實	高橋 正彦・千田 文和 山崎 敏・小原 靖
横 手 市	194 (39)	佐藤 民男	古関 俊勝・菊谷 隆志	佐藤 民男	阿部 和明・吉田 聡 石川真須夫・永沢 敏昭 古関 俊勝・菊谷 隆志
湯 沢 雄 勝	121 (17)	佐藤 朋夫	岡 光・大山裕一郎	佐藤 朋夫	佐藤 朋夫・大山裕一郎 滑川 道彦

令和2年度 会計決算書

収入総額 2,071,538円
 支出総額 1,571,195円
 差引残額 500,343円

【収入の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	付 記
1. 負 担 金	2,062,500	2,062,500	0	1,500 円×1,375 人
2. 特 別 協 賛 金	0	0	0	
3. 繰 越 金	9,035	9,035	0	令和元年度より繰り越し
4. 雑 収 入	10	3	-7	預金利子
合 計	2,071,545	2,071,538	-7	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	付 記
1. 会 議 費	175,000	53,684	-121,316	
(1) 総 会 費	100,000	25,487	-74,513	資料等
(2) 理 事 会 費	55,000	21,137	-33,863	資料等
(3) 監 査 会 費	20,000	5,620	-14,380	会場費・交通費等
(4) 幹 事 会 費	0	1,440	1,440	会場費
2. 業 務 費	310,000	30,000	-280,000	
(1) 旅 費	280,000	0	-280,000	
(2) 慶 弔 費	30,000	30,000	0	表彰者祝い金
3. 事 務 費	140,000	275,258	135,258	
(1) 通 信 費	40,000	105,944	65,944	会報等送料 発送用具等
(2) 消 耗 品 費	20,000	63,344	43,344	紙 封筒 インク等
(3) 雑 費	15,000	5,250	-9,750	筆耕料・謝礼 他
(4) 事 務 局 費	15,000	14,720	-280	事務局通信費,コピー,印刷費等
(5) 事 務 手 当	0	0	0	
(6) 報 償 費	50,000	86,000	36,000	事務局会交通費
4. 事 業 費	872,500	662,253	-210,247	
(1) 教育懇談会費	60,000	60,000	0	3 郡市へ(各 20,000 円)
(2) 秋季研修大会費	80,000	0	-80,000	
(3) 調 査 費	5,000	3,000	-2,000	県教委訪問
(4) 会 報 印 刷 代	200,000	258,000	58,000	県会報印刷費(2 回)、原稿執筆謝礼
(5) 郡市連絡協議費	100,000	4,520	-95,480	郡市総会への派遣費
(6) 郡市研修活動費	137,500	137,500	0	郡市へ100 円×納入者数(1,375 人)
(7) 「教育の日」活動費	50,000	39,233	-10,767	あきた教育の日関連活動費
(8) 郡市会長会会議費	80,000	0	-80,000	
(9) 記念事業準備金	80,000	80,000	0	特別会計へ(節目の年の記念事業経費)
(10) 東北大会準備金	80,000	80,000	0	特別会計へ(東北協議会秋田大会準備経費)
5. 負 担 金	570,000	550,000	-20,000	全国(400 円×1,375 人)
6. 予 備 費	4,045	0	-4,045	
合 計	2,071,545	1,571,195	-500,350	

令和3年度 収支予算書

収入総額 2,525,353円
支出総額 2,525,353円
差引残額 0円

【収入の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	付 記
1. 会 費	2,025,000	2,062,500	-37,500	1,500 円×1,350 人 ※1
2. 特 別 協 賛 金	0	0	0	
3. 繰 越 金	500,343	9,035	491,308	令和2年度より繰り越し
4. 雑 収 入	10	10	0	預金利子
合 計	2,525,353	2,071,545	453,808	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	付 記
1. 会 議 費	100,000	175,000	-75,000	
(1) 総 会 費	30,000	100,000	-70,000	交通費・資料等
(2) 理 事 会 費	30,000	55,000	-25,000	交通費・資料等
(3) 監 査 会 費	20,000	20,000	0	会場費・交通費等
(4) 幹 事 会 費	0	0	0	
(5) 事 務 局 会 費	20,000	0	20,000	会議費等
2. 業 務 費	350,000	310,000	40,000	
(1) 旅 費	300,000	280,000	20,000	全連退, 東北協議会他
(2) 慶 弔 費	50,000	30,000	20,000	慶祝・弔意、表彰
3. 事 務 費	270,000	140,000	130,000	
(1) 通 信 費	100,000	40,000	60,000	会報等送料 発送用具等
(2) 消 耗 品 費	40,000	20,000	20,000	紙 封筒 インク等
(3) 雑 費	25,000	15,000	10,000	筆耕料・謝礼 他
(4) 事 務 局 費	25,000	15,000	10,000	事務局通信費, コピー, 印刷費等
(5) 報 償 費	80,000	50,000	30,000	
4. 事 業 費	1,090,000	872,500	217,500	
(1) 教育懇談会費	60,000	60,000	0	鹿角、男鹿、横手へ各 20,000 円
(2) 秋季研修大会費	80,000	80,000	0	会場費・講師謝礼 資料等
(3) 調 査 費	10,000	5,000	5,000	調査等に係る経費
(4) 会 報 印 刷 代	220,000	200,000	20,000	県会報印刷費(2回)・関係資料代
(5) 郡市連絡協議費	100,000	100,000	0	郡市総会・郡市研修会への派遣費
(6) 郡市研修活動費	270,000	137,500	132,500	郡市へ200円×納入者数(1,350人)
(7) 「教育の日」活動費	120,000	50,000	70,000	あきた教育の日関連活動費(ポスター作成)
(8) 郡市会長会会議費	30,000	80,000	-50,000	交通費・資料等
(9) 記念事業準備金	100,000	80,000	20,000	特別会計へ(節目の年の記念紀要作成等)
(10) 東北大会準備金	100,000	80,000	20,000	特別会計へ(6年周期東北秋田大会用)
5. 負 担 金	560,000	570,000	-10,000	全国(400円×1,350人)・東北2万
6. 予 備 費	155,353	4,045	151,308	
合 計	2,525,353	2,071,545	453,808	

※1 潟上市・南秋田郡退職校長会の解散に伴う会員減を含む

令和2年度 特別会計決算書

収入総額	183,512 円
支出総額	0 円
差引残額	183,512 円

【収入内訳】

1	前年度繰越金	23,512 円
2	記念事業準備金	80,000 円
3	東北大会準備金	80,000 円
	合計	183,512 円

【支出内訳】

合計	0 円
----	-----

※ 上記の残額 183,512 円については、別冊「特別会計」用の通帳に、貯金保管中である。

郡市だより

—退職校長会に寄せる思い—

鹿角

地域・学校のお手伝いをしながら

千葉綾悦

退職まで残り一年余りとなった令和元年度末、新型コロナウイルスの感染が広がり始めました。しかし、まさかその後一年以上もコロナの影響が続くとは思いませんでした。時期を遅らせ短縮して実施した運動会、入場数を制限した音楽祭、行き先を県内に変更した修学旅行等、対応に追われた最後の一年でした。そうした中で、保護者が出席して卒業式を行うことができ、ほっとしました。そして、退任式では、代表児童から四百字以上の手書きの嬉しい卒業証書をもらいました。(感謝)

今年度は、鹿角の中学校で初任者研修のお手伝いをしています。校長・教員時代は、子どもたちの成長・活躍を楽しみにしてきました。今は一緒に勉強しながら初任の先生たちの活躍を見守っていききたいと思っています。

コロナが終息したら、先輩たちのお話を伺いながら、中断していたことやこれまでできなかったことに挑戦していききたいと思っています。



大館北秋田

「つながり・ひらく」を大事に

村上光明

退職したらキャンピングカーを購入して旅行三昧と壮大な夢を描いてましたが、我が家の財務大臣には軽くあしらわれ、コロナ禍で県外にも出られず、厳しい現実を味わっています。悠々自適なセカンドライフはまだまだ先なのですが、まずは四月から拝命した会計年度任用職員の責務を全うし、微力ながら様々な課題を抱える学校現場の一助になれるよう尽力したいと思っています。新米会員ではありますが、仕事でも退職校長会でも、これまで先輩方からご教示いただいた「つながり・ひらく」を大事にしていきたいものです。

コロナ終息を願って

木村 伸

コロナ禍により、覚悟ある確かな決断と新たな知恵を求められた教職最後の年でした。三月末、同僚からの盛大なる送別、諸先輩からの労いのお手紙と品々、採用時の教え子たちの慰労自宅訪問。深い感謝の念を抱いた退職の時でした。四月から市内三つの中学校の非常勤講師として、少しでも教育界へのお手伝いをしております。この度、会員として加えていただきましたが、総会や懇親の時もなく、皆様に直接ご挨拶もできない状況です。今は、コロナ終息後、一献傾けながら以前のような交流ができることを願うばかりです。

能代市山本郡

有り難い出会い

小 玉 リツ子

日付が変わった四月一日、力量ある方にバトンタッチできた安心感と肩の荷がようやく下りた安堵感に、しばし放心となりました。

校長の責務に苦悩のときもありましたが、先輩校長先生方が乗り越えられた英姿や温かい励ましに支えていただきました。合同研修会や頂いた会報等を通して、退職後も教育に温良篤厚に向きあい、創造的で豊かに日々をお過ごしのご様子にも力をいただきました。今年度より私もその末席にくわえていただけることに感謝申し上げます。(真面目に楽しく!) どうぞよろしくお願いいたします。

断捨離のチャンス到来?

長 浜 中

昨年度、四月の校長会で三種町教育委員会鎌田義人教育長から、「コロナ禍で大変でしょうが、工夫を凝らしながら可能な限り子どもたちの活動を保証してあげてください。また、教育活動を精選してください。」との指示を受けました。半日開催の運動会や学校祭等々、三密回避等の制約はあったものの、昼食が不要のため「時間的に余裕ができた。」「食中毒の心配がなくなった。」と話されていた保護者も多々。当たり前と思っただけのことでも見方や考え方を換えれば・・・。

これからの人生に活かしたいと思います。

男鹿市

男鹿市退職校長会に入会して

木 村 守 人

年度末事務処理に追われて、教職三十八年間の疲れも癒えないまま、再任用教員として井川義務教育学校へ赴任しました。今年度から学級担任二人制を掲げる経営方針により、担任の一人として七年(中学一年)生と共に学んでいます。学級担任や部活動指導は約二十年ぶりです。一刻も早く学級担任の生活に慣れ親しんでいきたいと思っています。男鹿市退職校長会の皆様には、現役時から大変お世話になってまいりました。現在は余裕がありませんが、時が来たら少しでも恩返しができるよう努力してまいりたいと思います。

男鹿市退職校長会総会に参加して

加 藤 牧 子

退職を機に、これまで後回しにしてきた荷物整理に取りかかりました。時間に追われることもなく、自分のペースで黙々と作業に当たる日々。一か月はあつという間に過ぎました。そうして迎えた五月一日の男鹿市退職校長会総会当日。在職中にご指導いただき、お世話になった諸先輩方にお会いして、自然に笑みがこぼれました。近況報告に話も弾みました。久しぶりに味わう高揚感。

会員相互のつながりと、そこで得られる学びの機会のありがたさをつくづく感じさせられた総会への初参加となりました。

秋田市

お世話になります

千 葉 学

教員生活最後の一年は、これまでの教員生活を振り返りながらゆつくり過ごすつもりでありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大とともにその対応に追われる毎日となり、余韻に浸ることなどただのひとときもない一年を過ごすこととなってしまいました。

退職を迎えた今は、ようやくその重圧から解放され、落ち着いた日々が戻りつつあります。退職校長会の皆様にはこれまで大変お世話になりました。ありがとうございます。これからは退職校長会の一員としてお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

第二の人生と入会の動機

越 中 谷 俊 悦

現職当時も先輩の皆様には大変お世話になりました。心から御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

四月からは、秋田大学(非常勤)でお世話になっております。大学生や大学院生の教育実習等のお手伝いや時々の講義などが主な仕事内容です。

退職校長会への入会動機は、これまでお世話になりました様々な事象や多くの方々にかしらの恩返しをしなければ、という思いからです。私にできることがあれば、一生懸命に取り組みたいと考えています。

由利本荘・にかほ

新たなスタート

阿部 潜

この三月に、36年間の教職生活に一旦ピリオドを打ちました。四月からは、小学校の臨時講師として、また新たなスタートを切り、5・6年生の社会科と4・6年生の算数TT等の授業に出ています。これまでとは学校での生活リズムが違うので、最初はやはり戸惑いしましたが、もうすっかりこの生活にも慣れ、楽しく毎日を送っています。子どもたちと直接話をする時間も増え、子どもの素直さに癒やされることは多いです。これまでの自分の経験を生かしながら、子どもたちの指導に当たっていききたいと思っています。

新たな目標をもって

須藤 一喜

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないままに卒業生を送り、三月末に定年退職を迎えました。この四月からは、再任用で初任者研修に携わっていますが、学校現場の若返りを実感しています。微力ながら、教員という仕事の喜びや、やりがい伝えていきたいと考えています。由利本荘・にかほ退職校長会入会のお誘いをいただきましたが、今年度の総会も感染予防のため開催中止となり、先輩の皆様にご挨拶もできません。どうぞよろしく願います。散歩で体力を維持し、学校や地域に僅かでも役立つよう努めます。

大曲仙北

コロナ後の新しい日常に期待

武蔵 優紀

一転して人と人との関わり方が大きく制限された現職最後の一年間でした。創意工夫と危機管理が求められ、待ったなしの判断が続きしました。成果よりも課題の多い学校運営であったかもしれませんが。職員の協力のおかげで迎えることができたこの四月には解き放たれたような感覚を覚えました。

今後は最前線の現職の役に立つことが少しでもできればと考えています。やがてはコロナ後の新しい日常を迎えると思います。先輩方から今後の生活について直にご教示いただくことを心待ちにしています。

ゴルフで繋がって

高橋 宗生

会長はじめ、各役員、事務局の皆様方の様々なご苦勞に肖りながら、楽しい活動に参加させていただいてる私です。

退職校長会の何よりの楽しみは、年二回のゴルフコンペです。小中学生の頃の傘寿を過ぎた恩師。指導を仰いだ先輩教師。教育を熱く語り合った同年代の仲間。同じカートに乗って、健康問題を中心に、近況を確認しながらも、話題はやはり教育問題に。時には、如何に生きるべきかを学ぶ場にも。コロナ禍が一日も早く終息し、従来の正常な教育と本会の事業の推進が実現されることを願っています。

横手市

「旭交会」に入会して

高橋 玲子

三十八年間の教員生活は無事勤め上げ、今年度より横手市退職校長会「旭交会」の一員に加えていただきました。三月までは、新型コロナウイルス感染症予防対策をはじめとする様々な対応に慌ただしい日々でしたが、四月からは、静かな時間の流れの中で、穏やかな毎日を過ごしております。

コロナ禍の今、何かと制限されることも多いのですが、一日も早い終息を願うとともに、お世話になった先輩会員の皆様にお会いできる日が来ることを楽しみにしております。よろしく願います。

断捨離

土田 充

四月、落ち着いたところで、身の回りの物の整理を始めた。キャリア教育研修会、全国理科実験講座等々、様々な資料が出てくる。よく頑張ったものだあと振り返りながら、沢山の思いとともに資料を紙ひもで縛る。

しかし、断捨離とは、単に不要な物を処分する事ではなく、大切な事に注力して生きていくとする考え方そのものを指すのだそう。四月から横手市のかがやき教室で勤務している。資料は処分しても、これまで得られた知識や技能を活かし、今、目の前にいる不登校児童生徒の支援に全力を注ぎたいと思う。

湯沢雄勝

新しい生活様式

近野 良 浩

三月末に定年退職し、退職校長会に入会させて頂きました。退職までの2年間は、新しい生活様式への対応、新しい行事の創造など、コロナで大変な時期ではありませんでしたが、みんなで知恵を出し合い共に歩んだ日々は、意外に充実していたように感じています。現場を離れた今は、力を合わせて何かに取り組むということがなくなり、寂しい日々を送っています。今後は、退職校長会の会員として諸先輩のご指導を頂き、充実した日々が送れるよう、新しい生活様式を創造していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

コロナ禍の終息を願って

中 川 一 志

この三月、無事定年退職を迎えました。教職生活の最後の年は、コロナ禍の危機管理に頭を悩ませました。一斉休校から始まり、運動会、修学旅行、学習発表会などの行事をどのように実施するか、判断に迷うことが多くありました。しかし、職員が知恵を出し合い、いずれも児童、保護者に満足していただける内容で実施することができました。

退職した今の私の課題は、「時間の使い方」です。コロナ禍が一日も早く終息し、一献傾けながら退職校長会の先輩からご教示していただける日を心待ちにしています。

現職&退職校長会の主な動き

現職校長会情報

① 県小・中学校長総会・退会会員感謝の会

五月八日(土)に開催を予定していた標記の会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き中止とし、定期総会は書面表決を実施しました。

令和三年度の新役員は、次のとおりです。

役職	【小 学 校】		【中 学 校】	
	氏 名 (校 名)		氏 名 (校 名)	
会 長	齋藤 徹 (川 尻)		工藤 隆 (泉)	
副会長	大友智加司 (築 山)		大塚 久隆 (城 東)	
"	藤田 卓也 (淳城西)		渡部 鋼喜 (比 内)	
"	佐藤 睦子 (岩 城)		鷺谷 真一 (五城臺)	
"	高野 一志 (大 曲)		富谷 祥彦 (稲 川)	

なお、小・中学校長会会長には、工藤隆氏が決定しました。

② 秋田県小・中学校長研究大会

八月十九日(木)に予定していた標記の大会は、新型コロナウイルスの感染状況が依然として警戒を緩めることができない状況にあり、今後も収束に向けた見通しが不透明なこ

とから、すべてが一堂に会することを止め、「誌上大会」とすることとしました。

③ 今年度の東北大会(小・中)

六月の東北地区中学校長会研究協議会岩手大会及び、七月の東北連合小学校長会研究協議会福島大会は、いずれも誌上大会(紙面開催)となりました。

退職校長会情報

① 郡市会長・事務局長合同の会

例年七月に開催していた標記の会は、コロナウイルス感染防止の観点から、本年度も一堂に会しての開催は断念し、紙面での情報交換とすることとしました。

本号では、各郡市から書面でいただいた情報交換資料の内容を一部抜粋して紹介してあります。(10頁～11頁)

② 第42回秋田県秋季研修大会

昨年延期された本年度の県秋季研修大会は、さらに一年間延期することになりました。

③ 第48回東北地区退職校長会協議会岩手大会

十月に予定しておりました標記の大会は、来年度に延期することになりました。

令和 3 年度

郡市会長・事務局長合同の会

各地区から寄せられた情報交換資料は、七月中に各郡市事務局に送付しましたので、機会がありましたら、ぜひ一読ください。

なお、情報交換した内容の一部ではありませんが、次の二点について各地区の状況をまとめましたので、参考にしていただければ幸いです。

今年度の総会の状況について

鹿角

新型コロナウイルスの感染予防のため、令和二年度に続いて総会開催を見送り、書面による表決を実施しました。

71名の会員中、62名の書面表決がありましたが、その結果、全員のご賛同をいただいて総会決議は成立されました。

大館北秋田

総会開催について二年度末理事会で検討した結果、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、生活に影響を及ぼしている状況では開催できないという結論に至った。

総会での提案内容の承認については、理事会で審議を重ね了承されたことで、会員へは要項等の資料配付で議案（会務報告や予算書、事業計画等）の承認に代える。

能代市山本郡

・四月二十四日（土）に総会と懇親会を行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み中止とした。

・議案書（案）を全会員に配付し、文書審議の形で承認してもらった。

・新入会員の歓迎会を兼ねていただだけに、中止となったことは甚だ残念である。

男鹿市

①総会

・令和三年五月一日（土）JR男鹿駅前ホテル諸井で開催

・会員19名出席（参加率32%）

②研修会（総会終了後）

・会員19名、講師陣11名、計30名が出席

・演題「私たちの健康は私たちの手で」

・講師 男鹿市食生活改善推進協議会

会長 三浦愛子氏

推進協議会推進員10名が寸劇に出演

③新型コロナウイルス感染症対策

・健康に関する問診票の記入、体温測定、席の指定、会での非接触型体温計等の購入

秋田市

四月二十四日に予定していたが、コロナ禍により総会を中止し、代わりに理事会を開催して議案を審議し承認を得て、活動をスタートしている。

由利本荘・にかほ

令和三年度総会 四月二十四日（土）

開催の方向で準備していたが、コロナ感染防止のため中止とした。

三月二十二日（月）に開催した理事会の承認内容を総会に代わる議決とした。

大曲仙北

中止

横手市

新型コロナウイルスの感染防止から、書面による総会議決を役員会で決定し、会員に通知した。

湯沢雄勝

コロナウイルス感染防止のため理事会での承認を得て書面決議。

現職校長支援の現状について

鹿角

・昨年は実施できませんでしたでしたが、毎年開催している「教育懇談会」では、現職校長にも参加していただき、学校の様子を伺いながら、情報交換をする場となっています。また、学校教育活動への指導・協力等、支援活動にも多くの会員が参加しています。

・市教委主催の登校時の「声かけ運動」で

は、多くの会員が自宅近辺での見守り活動に取り組んでいます。

大館北秋田

・三年に一度の「現職校長との合同研修会」と、会員寄稿や学校紹介のページなどを盛り込んだ会報（年一回発行）の配付。
・会員個々では、退職後も学校や行政等に勤務したり、学校の要請等に応じて学校評議員や地域コーディネーター等々、地域住民の一人として様々な形で直接的、間接的に関わりながら支援している。

能代市山本郡

本会としては特に取り組んでいないが、個人的には学校支援ボランティアや学校運営協議員、学校支援員等として、かかわっている会員が増えてきている。

男鹿市

新型コロナウイルス感染症により、昨年度は、現職校長との研修会が開催できず、これといった成果はない。

秋田市

・合同の教育懇談会の開催（次年度に延期）
・会報「掬水」の現職への配布
・二月の現職校長会での退職校長会への入会案内
・電話による入会案内

由利本荘・にかほ

各学校のコミュニティ・スクールの学校運営協議会委員、子ども見守り隊の一員、教科指導等のボランティアとして支援している。
コロナ禍で、支援が制限されている。再任用者の増加と高齢化のため、人材バンクへ新たに登録する会員が減少している。

大曲仙北

あくまでも、要請があったら動くスタンス（現職が大変なのは理解しているので、出しゃばらないのが肝要）

横手市

ここ数年は、とりたてて現職校長支援ということはしてこなかった。合同研修会等を通じて情報交換をしてきた。統廃合も進んで様々な課題もあることが予想されるので、しっかりと情報を共有して支援できたらと思う。

湯沢雄勝

現職校長へは学校支援の要望があれば会に対応する旨お知らせしている。

本会事務局への依頼はないが、個人や所属している団体の一員として学校支援をしている会員は多くいる。（学校運営協議会委員 校外授業 読み聞かせ スキー教室 部活動 指導など）

今後と同じような形で学校支援が継続されると考えている。

会員のご逝去（敬称略）

心からご冥福をお祈りいたします。

（96号以降）

氏名	年月日	住所
野中 忠男	3・2・6	鹿角市花輪字下夕町
木越 信男	3・4・28	大館市岩瀬字街道脇
高橋 禎三	3・5・24	大館市字池内道下
高坂 勇治	3・6・12	北秋田市宮前町
渡部ゆう子	3・2・7	能代市青葉町
三浦 洋子	3・5・1	能代市字大瀬儘下
児玉 三朗	3・4・11	潟上市天王字上ノ台
三浦 進	3・3・29	秋田市港北
衣笠 昭生	3・3・30	秋田市手形
加藤 英二	3・4・14	秋田市新屋
小川忠太郎	3・4・19	由利本荘市石脇
佐藤 一雄	3・6・14	由利本荘市矢島町
松村 昭吾	3・3・31	仙北市角館町上菅沢
斎藤 庵	3・4・13	大仙市大曲福見町
福島 敬志	3・4・30	美郷町千屋下相野
青池 恒城	3・6・2	大仙市大曲船場町
佐々木志朗	2・12・7	横手市十文字町
間杉 直介	3・2・15	横手市安田
青川 光幸	3・5・29	横手市二葉町
大塚 捷平	3・6・3	横手市十文字町
近 成一	3・6・14	横手市十文字町
後藤 欣一	3・3・5	湯沢市愛宕町

会員の寄稿

私の方が学んだ初任者研修



鹿角 阿部 義弘

昨年度までの五年間、十九名の初任者との研修を通して多くのことを学ばせていただいた。研修資料のほとんどは、先輩指導教員の皆様が作成、活用したものを使わせていただいたが、市販の冊子やインターネット上の資料も活用した。インターネットには、様々な研究や実践、教材などが数多くアップされている。現職の時に読みたかったと思うものも多くあり、当時の不勉強を後悔することばかりであった。研修で印象に残っていることの中に「基礎・基本」と「思いやり」がある。現職の頃から当たり前のように使ってきたが、いざ初任者に説明することになり、はたと困った。学習指導要領にも、その他の資料にも「基礎・基本とは〇〇である。」という記述も「思いやりとは〇〇である。」という記述もない。初任者も私に問われ、実は説明できないことに気がつく。このことについてどのように研修を進めたかは省略させていたが、「なぜ大事だと言われるのか」をいろいろな角度から考えることで学習指導や生

徒指導の充実につながると思っている。

また、授業を提供してくれたり、研修指導を行ってくれたりした先生方の授業力や見識の高さに感服したり感銘を受けたりすることもしばしばだった。校長先生をはじめとした現職の先生方の取組、初任者が授業づくりや学級経営、担当校務や保護者対応などで悩みなながらも踏ん張り続けた姿からも多くのことを学んだ五年間だった。残念ながら学んだことを活かすことはもはやできないが、研修資料を探しているときに出会った「永遠に生きるかのように学び、明日死ぬかのように生きる」という言葉を胸に今後も学び続けたい。

(平成二十八年三月退職)

調べてみたら



大館北秋田 五十嵐 経

大館市といえば、忠犬ハチ公のふるさと、秋田犬の里を全面に押し出して、市の施策や観光などに活用しています。かわいい秋田犬のイラストがTシャツやバスにも使われていて、あちらこちらで目にする事ができます。

ところが、「忠犬ハチ公」のことをどれだけ知っているかといえば、首をかしげたくなくります。文化財保護協会に所属している身と

して調べてみると、あまりに知らなすぎる事実が多いので、様々な機会に発表したところ、それらが市民に知れ渡っていないことに衝撃を受けました。

その一端を紹介します。「ハチは飼い主が毎朝勤めに出るときは電車の駅まで送っていき、夕方帰る頃にはまた駅まで迎えに出来ました。」これは限りなく嘘に近い不正確な情報です。飼い主の上野英三郎博士は農業土木のパイオニアで東京帝国大学の教授でした。彼の住まいは今の渋谷東急デパートの辺りで、当時の東大農学部は現在の東大駒場にありましたので、時々ハチの散歩がてら二十分ほどの所にある大学に歩いて通っていたのです。渋谷駅や都電を使ったのは、赤羽にある日本初の西ヶ原農事試験場や霞ヶ関の農商務省、そして全国各地や台湾、朝鮮への出張の時です。その時ハチも駅までついてきたわけです。

また、ハチが国粹主義や軍国主義に利用されたとして、戦後「忠犬ハチ公」から「愛犬ハチ公」に変える動きがありました。犬の忠義を強調する人々の反対もあり、最終的にGHQの判断で「忠犬」のままになりました。

一例を紹介しましたが、観光資源として活用するのいいですが、真実を最優先に伝えることが何より大事ではないかと思えます。

(平成二十六年三月退職)

里山歩きを楽しむ



能代市山本郡

田村 良 則

退職後、妻と一緒に山歩きを楽しんでいました。以前は県外の山に登ることもあったのですが、昨年からコロナ禍で最近では近くの里山がほとんどです。

今年のスタートは四月下旬の二ツ井七座山でした。七座山は二ツ井町の米代川対岸に位置し、三百M未満ながら七つの頂をもつノコギリ状の山です。今回は頂上の権現倉と展望台を目指します。用心のため熊鈴は欠かせません。舗装道路に面する登山口から入るとすぐジグザグの急登が続きます。分岐から左の倉ノ松コースを登ること約四十分、頂上に辿り着きました。歩きやすいように登山道を整備してくれた方々に感謝です。頂上から十五分ほど歩くと展望台に着きます。展望台には先客が一名おりました。挨拶をすると地元の方だそうです。好天の山歩きではほぼ間違いなく単独の方や数名のグループと出会いいます。里山を愛する方は結構多いのです。木々の若葉の出る前は見通しが抜群、ここからは二ツ井町そして反対側の北秋田市が一望できます。爽やかな風を浴びながら蛇行する米代川を眼下に頬張るコンビニおにぎりは格別で、冷たいお茶が身体に染みわたります。調べて見ると八峰町や藤里、五城目、男鹿

などにも多くの山歩きコースがあります。ほんの二時間程度の山歩きなのですがどの山もかなりの急斜面を有し手応え十分です。またそれぞれの山には史蹟が残り地域の歴史を感じさせます。そして季節により表情が変わるのも楽しみの一つです。

ビールを飲みながら天気予報を睨め次の獲物を目論んでいるところです。

(平成二十五年三月退職)

秋田のよさを再発見しよう



男 鹿 市

中 川 真 人

若い頃は部活動に入れ込んで、家族と一緒に過ごす時間を殆どとれなかった。罪滅ぼしの気持ちもあって、再任用退職後は妻と二人で全国の名所を旅しようと話し合っていた。準備を始めようかと相談していた矢先の昨年二月末、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校、さらには四月からの緊急事態宣言で、県境を越える移動はできない状況になってしまった。

宣言直後は自宅の庭の手入れをしたり読書をしたりと、大人しく自粛していたが、猫の額ほどの庭では庭いじりにも限界がある。六月になる頃には生来の落ち着きのなさが頭をもたげ始め、周囲の様子を窺いつつ、そろそ

ろと県内各地を訪れることにした。男鹿市や八峰町、鹿角市、仙北市、にかほ市では地元料理に舌鼓を打ち、季節ごとの景色を楽しんだ。また、能代市や由利本荘市、大仙市、北秋田市、横手市、湯沢市でも温泉を満喫したり、おいしい料理を味わったりすることができた。

改めて県内を見渡してみると、これまでに訪れたことのない、あるいは長年ご無沙汰していた名所が数多くあることに気付かされる。コロナ禍により、この後も暫くは県外との往来は自粛せざるを得ないだろう。であるならば逆転の発想で、県内を隈なく訪れて地元秋田の素晴らしさを再発見してみたい。

例年であれば、年に一度か二度、旧交を温めている中学校時代の友人たちも帰省がままならず、募る望郷の思いをLINEに載せている。彼らにも改めて見付けた秋田のよさを伝え、いずれ落ち着いたら「美の国秋田」を共に楽しんでみようかと考えている。

(平成三十年三月退職)



「ウォーキング」

秋田市
加賀美 俊一

退職の数年前に人間ドックで、「減量のため、ウォーキングなどの運動をした方がよい」との指導を受けた。そこで、年度当初の四月から太平川沿いのコースで、朝のウォーキングに挑戦した。

しかし、意志の弱さもあり、桜の満開の時期が過ぎると、徐々にウォーキングから遠ざかるパターンを繰り返してきた。

ところが、退職してからは、現在までの朝のウォーキングを継続できている。その理由は、大きく三つのことが考えられる。

第一に、退職後の職場に徒歩通勤することになり、歩くことが日常化したことである。
第二に、退職二年目に人生初めての手術・入院を経験し、健康の大切さを痛感したことも大きい。

第三に、多忙感から解放され、少し心に余裕ができたせいも、ウォーキングを通して新たな発見や出会いがあったことである。

具体的には、桜の満開を過ぎてからの葉桜や川面に浮かぶ花びらにも風情を感じるようになった。これまで見過ごしていたかもしれない雉や川鵜などの鳥類を目にするようになった。そして、自分なりのスタイルでウォーキングを楽しむ人たちとの出会いである。大

きな犬に引つ張られるように歩いている人、テニスボールを握り、後ろ向きに歩いている人、昭和歌謡を口ずさみながら歩いている人など様々である。

最近では、少しコースに変化をもたせようと千秋公園方面に足を伸ばすこともある。

今後も、心と身体の健康のため、楽しみながらマイペースでウォーキングを継続していきたい。

(平成二十九年三月退職)

「行ってきます」と「ただいま」に

由利本荘・にかほ
佐藤 清和

地元の小学校を最後に退職して五年。退職間際には、いくらかでも学校の応援をと思っていました。しかしながら、いざそのときになってみると、直接的なかわり方にはなるとなく気が引けてしまっていました。

退職後の生活にも大分慣れた頃、あることをきっかけに、既に活動していた家内と共に見守り隊の一員に加えてもらいました。私は登校時、家内は下校時と二人で勝手に決めたの活動です。朝、おもちゃ美術館の待合室もある小さな駅に、子どもたちが十二人集まって来ます。電車を見送ると、間もなく自転車通学の中学生が駅前を通過します。

どの子どももおはようと挨拶を交わしますが、それぞれの挨拶の声は毎日違います。目を合わせてくれるとき、うつむき加減のとき、視線を反らすとき。本当の気持ちが見え透る瞬間です。子どもたちは、学校に着くと健気にも気持ちを学校モードに切り替えます。在職中に見落としがちなの子どもの一面でした。

ところでこの頃、「行ってきます。」と言ってくれる子どもが増えました。特に中学生や電車通学の高校生です。初めはとても新鮮な驚きでした。家族以外に、当たり前のように「行ってきます。」と言われたことがあったらどうかと家内に話すと、帰りは自然な「ただいま。」が返ってくるとのこと。在職中の『オアシス運動』とは異なる感覚です。子どもたちとの関係は単なる地域のじいさん。あいさつの一言に、子どもたちはこちらの気持ちを敏感に感じ取り、正直に反応してくれます。本気度が試される毎朝の活動です。

(平成二十八年三月退職)



身近な「心躍る感動」の発見を



大曲仙北

佐藤厚子

退職して一年余りが過ぎましたが、それは新型コロナウイルスという未曾有の危機に直面した一年でもありました。実は退職後には時間的余裕と、海外旅行やミュージカル観劇など、趣味を楽しむ時間が存分にもてるものと期待していました。しかし、その期待はことごとく打ち砕かれました。大仙市教育委員会での学校教育アドバイザーとしての職務以外は他との交流を控え、家庭内で過ごす時間が圧倒的に多くなりました。これは予想外の精神的ストレスとなり、「心躍る感動」を感じるこのできない日々が続いたのです。

そんな時、知人の案内で鳥海国定公園内にある桑ノ木台湿原に行く機会を得ました。県内にいながら初めての経験でしたが、これが想像以上にすばらしい景色だったのです。近くで見る鳥海山の雄大さ、レンゲツツジを始めとする高山植物の美しさ。由利原高原や仁賀保高原「土田牧場」に足を伸ばし、象潟にも行きました。高原から海に向かう坂道で見た日本海のなんと美しかったことか。自然だけでなく、由利牛や岩ガキなどおいしい食べ物にもたくさん出会うことができました。まさに感動の連続でした。

これ以後、秋田内陸縦貫鉄道を利用し北秋

田市阿仁マタギの里や森吉山阿仁スキー場へ行ったり、玉川温泉や秋ノ宮温泉、乳頭温泉、飛島や佐渡島にも車で出かけたたりするなど、多くの「心躍る感動」に出会いました。

遠くに行けないこんな時期だからこそ、日頃見過ごしていた身近なところにある感動を改めて発見することができました。どんな環境でも心躍る楽しい感動を発見し、前向きに生活していこうと思うこの頃です。

(令和二年三月退職)

「日々是好日」を願う



横手市

佐々木

亨

ジャズやフォークソングのウッドベースの音をイヤホンで楽しみながら家の田圃の見回りをし、仏前で般若心経を唱え夏の一日が始まります。

退職後は専ら米づくり野菜づくりに取り組んでいます。我が家は農村にあります。田植え、消毒や除草、稲刈りなど、農作業の手伝いを近所の農家から頼まれます。一緒に作業する数人から十人程度の中では常に若手です。

四月に手伝いをした種蒔き作業は十二人で行いました。私と同年の男性が一人、他は間違いないお兄さん、お姉さんです。自ずと指

示されること、頼まれることが多くなりま
す。「若いから体力あるべ。」「軽トラを移動してくれ。」「小屋から肥料を持ってきた
けれ。」と。気持ちも体力も仲間の中では若
手の私です。簡単に音は上げられません。稲
作の他、秋はリンゴの収穫、冬は夜間の除雪
作業にも声がかかるようになりました。
二年前に鮎の友釣りを始めました。何か新
しい楽しみをもとうと思っていたタイミング
に、知り合いでひとり鮎を扱っている方から
誘いがあつたからです。

釣具店に連れて行ってもらい、必要な用具
を揃えるところから教えてもらいました。初
挑戦であつた解禁の日にはその方の指導があ
りすぐに二匹釣ることができました。が、釣
れたのはその日だけ。時間があれば川に行く
のですが釣果はとなし。仕掛けは・・・
釣れる場所は・・・と教えてくれる人は複数
人いますが、そうそう簡単ではありません。
米作りに趣味に周りの方々から多くを教え
てもらい取り組む日々です。まだまだ若手、
晴耕雨読(音)、日々是好日・・・。

(平成二十九年三月退職)



羽後町観光ガイドの会



湯沢雄勝

石垣正美

退職して八回目の夏を迎えようとしている。早朝より田んぼの見回りとイチゴの摘み取り、野菜への水遣りをして一日が始まる。

羽後町に住んで二十五年目を迎えようとしているとき、観光ボランティアガイドの募集があった。羽後町のよさを知りたい、観光名所を巡りたいと考えていたので早速会に参加した。平成二十九年十月に「羽後町観光ガイドの会」が設立され現在十三名の会員で活動している。主な活動は西馬音内まち歩き、三輪神社を中心とした三輪地区、旧長谷山邸を中心とした田代地区、西馬音内城址を中心とした元西地区等のフィールドワークやガイド、講演会の実施。そして今年度は羽後町検定の実施に向けた取り組みを進めている。

設立当初は西馬音内盆踊り開催中に来町した団体をガイドしたり、藍と端縫いまつりでの案内や各種イベントの協力なども実施していたがコロナ感染症の影響で今は休止している。

羽後町といえば盆踊りに代表される伝統芸能やたくさんさんの歴史的建造物・伝統文化がある。これらを町内の方はもちろん町外の方にも知ってもらい、羽後町とのかかわりをより深めていき観光交流人口の増大を図っている

祝 叙 勲

氏名	現住所	功 勞	種 類	受章日
沢田欣之	鹿角市花輪字上花輪	教育功勞	瑞宝双光章	3・4・29
佐々田亨三	由利本荘市亀田	教育功勞	瑞宝双光章	3・4・29
畠山忠男	由利本荘市二番堰	高齢者叙勲	瑞宝小綬章	3・6・1
鈴木初彦	大仙市大曲住吉町	高齢者叙勲	瑞宝双光章	3・3・1
加藤忠紀	羽後町貝沢字拾三本塚	教育功勞	瑞宝双光章	3・4・29

おめでとうございます

(順不同・敬称略)

ところである。

昨年は中止、今年は無観客で規模を縮小して実施する「西馬音内盆踊り」であるが、早くコロナ感染症が治まり、今まで通りの開催が望まれるところである。そしてわれわれの活動も充実していくことを願っている。

『お盆恋しや かがり火恋し まして踊り子 なお恋し』

(平成二十六年三月退職)



お詫びと訂正

前号(96号)13頁の乳井康雄氏の寄稿文のタイトルに誤りがありました。次のように訂正し、お詫び申し上げます。

(誤) 若者の危機管理能力の感服
(正) 若者の危機管理能力に感服

【あとがき】

コロナワクチンの接種が順調に進み、やっと明るい兆しが見えてきたようです。まだまだ制限される生活は続きますが、いつかはコロナ禍がきっかけで良いこともあったと思えるように日々を過ごしていきたいものです。